



〈近世関係〉

若松城天守閣。葦名氏黒川城地に蒲生氏郷新城を築き文禄2年（1593）鶴ヶ城と命名。以後上杉氏、再蒲生氏、加藤氏、保科氏（松平氏）と領主が変わったが、会津統治の中心拠点であった。



五目組郷頭遠藤家。江戸時代五目組（1万石）の長として26ヶ村を会津藩郡奉行の下で治政、現在の村長格である。



山神社神像（美術工芸・彫刻） 元小屋山神社蔵
小屋の開村は天正18年（1590）会津領主となった蒲生氏郷と共に江州より会津に入り、翌19年入山し木地小屋を開く。木地師の守護神という。



太政官制札（歴史資料） 中川原・武田功家蔵
慶応4年（1868）3月明治政府より出されたもので3枚あり、国民の守るべき道を示したもの。